

社会資本総合整備計画（住宅・建築物安全ストック形成事業） 事後評価書

平成30年3月15日

計画の名称	会津若松市における良好な街なみ環境の形成及び住環境の向上																												
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	会津若松市																						
計画の目標	・城下町として古くより栄えた本市においては、郊外型大規模開発等の影響による中心市街地の空洞化や、東日本大震災に伴う風評被害など、市全域における活力の低下が進んでいる。そこで、景観協定地区におけるまちづくり協議会等との連携により、本市玄関口のシンボルロードとなる都市計画道路について、建築物等の修景による歴史的な街なみ形成と併せた無電柱化・道路美化等を実施し、更に各景観協定地区における建物等の修景支援やまちづくり支援を持続的に行うことにより、良好な街なみ環境の形成による市域全体の活性化を図る。																												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路会津若松駅中町線の整備率 ・景観協定区域内における建築物等の修景率 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>① 都市計画道路会津若松駅中町線の整備率 (整備率・%) = (整備延長 + (470mは整備済)) / (全体延長1,470m)</td> <td>32%</td> <td>35.1%</td> <td>58.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 景観協定区域内の修景実施率 (修景実施率・%) = (修景した建築物等の数) / (街なみ環境整備事業区域内にある景観協定10地区のうち建築物の同意者数)</td> <td>17.2%</td> <td>19.9%</td> <td>21.5%</td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 都市計画道路会津若松駅中町線の整備率 (整備率・%) = (整備延長 + (470mは整備済)) / (全体延長1,470m)	32%	35.1%	58.5%		② 景観協定区域内の修景実施率 (修景実施率・%) = (修景した建築物等の数) / (街なみ環境整備事業区域内にある景観協定10地区のうち建築物の同意者数)	17.2%	19.9%	21.5%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																										
① 都市計画道路会津若松駅中町線の整備率 (整備率・%) = (整備延長 + (470mは整備済)) / (全体延長1,470m)	32%	35.1%	58.5%																										
② 景観協定区域内の修景実施率 (修景実施率・%) = (修景した建築物等の数) / (街なみ環境整備事業区域内にある景観協定10地区のうち建築物の同意者数)	17.2%	19.9%	21.5%																										
全体事業費	合計 (A+B+C)	306百万円	A	294百万円	B	0	C	12百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.9%																			
事後評価																													
○事後評価の実施体制、実施時期																													
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																							
【実施体制】会津若松市建設部都市計画課において事後評価を実施。						事後評価：平成29年度																							
【評価値の確認方法】整備率・修景実施率の数値による。						公表の方法																							
						会津若松市のホームページにて公表。																							
1. 交付対象事業の進捗状況																													
交付対象事業																													
A 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考															
								H22	H23	H24	H25	H26																	
1-A-1	住宅	一般	市	直/間	市/民間	街なみ環境整備事業(会津中央地区)	道路美化・住宅等の修景等						289																
1-A-3	住宅	一般	市	間接	民間	街なみ環境整備事業(東山温泉街景観協定地区)	住宅等の修景等						5																
合計												294																	
B 関連社会資本整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
										H22	H23	H24	H25	H26															
合計																													
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
										H22	H23	H24	H25	H26															
1-C-4	住宅	一般	市	間接	民間		歴史的景観形成支援事業	歴史的景観指定建造物の修景等	会津若松市						10														
1-C-5	住宅	一般	市	間接	民間		郊外型景観協定地区修景支援事業	郊外型景観協定地区の修景等	会津若松市						1														
1-C-6	住宅	一般	市	間接	民間		自然景観形成支援事業	自然景観指定緑地の維持・管理等	会津若松市						1														
合計												12																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																		
1-C-4	景観協定区域外にある会津若松市景観条例に基づく歴史的景観指定建造物の修景支援を行い、市民の修景整備に対する意識を醸成することにより、中心市街地における良好な街なみ環境の更なる形成に寄与する。																												
1-C-5	街なみ環境整備促進区域外の郊外にある景観協定2地区において、建築物等の修景支援を行い、市民の修景整備に対する意識を醸成することにより、本市における良好な街なみ環境の更なる形成に寄与する。																												
1-C-6	会津若松市景観条例に基づく自然景観指定緑地に対する支援を行い、本市における良好な街なみ環境の更なる形成に寄与する。																												

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		本市玄関口のシンボルロードとなる都市計画道路会津若松駅中町線について、建築物等の修景による歴史的な街なみ形成と併せた道路美装化事業に着手し、更に各景観協定地区における建築物等の修景支援を行い、良好な街なみ環境の形成を図ることができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (道路の整備率)	最終目標値	58.5 %	目標値と実績値 に差が出た要因	都市計画道路会津若松駅中町線の整備率については、目標値に対して20.9%下回る結果となった。目標値に達しなかった要因としては、整備手法を無電柱化から電柱の移設・カラー化へ切り替えるなど、整備計画の見直しが生じ、工事に着手することが出来なかったためと考えられる。
		最終実績値	37.6 %		
	指標② (修景実施率)	最終目標値	21.5 %	目標値と実績値 に差が出た要因	景観協定地区内の修景率については、当初値より3.6%上昇したものの、目標値に対して0.7%下回る結果となった。目標値に達しなかった要因としては、社会経済の低迷や生活環境の変化、東日本大震災による工事費の上昇や復旧・復興による人手不足が考えられる。
		最終実績値	20.8 %		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況（必要に応じて記述）		歴史的景観指定建造物や自然景観指定緑地、景観協定地区内での建築物等への修景支援により、周辺住民の景観に対する意識が向上し、本市における良好な街なみ環境の更なる形成につながっている。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
本市玄関口のシンボルロードとなる都市計画道路会津若松駅中町線の道路美装化事業について、地元住民との協議を重ねながら、今後も事業を継続し、実施していくとともに、建築物等の修景支援を行い、良好な街なみ環境の形成に寄与していく。また、景観に対する意識向上のため、ホームページ等での情報発信やパンフレットの配布、また、美しい会津若松景観賞（表彰制度）等を活用しながら、景観に対する市民の意識高揚を図っていく。					